

## 特任教員任用規程

(目的)

第1条 この規程は、大阪経済大学（以下「本学」という。）の特任教員の任用に関して必要な事項を定める。

(対象)

第2条 本学の教育、研究水準の向上のために特に必要があると認められるときは、次に掲げる者のうち一定の基準をみたした者を特任教員として任用することができる。

- (1) 本学に6年以上勤務し、定年退職した専任教員（「特任教員A」という。）
- (2) 大学または研究機関等を定年退職または中途退職した者（「特任教員B」という。）

(任期)

第3条 任期は次の各号の定めによる。

- (1) 「特任教員A」の任期は3年とする。
- (2) 「特任教員B」の任期は、60歳以上本学専任教員の定年までの期間とする。

(任用基準)

第4条 特任教員となる者は、以下の基準をみたしていなければならない。

- (1) 「特任教員A」
  - ① 過去5年間において専門分野における研究論文を2点以上、あるいは著書1点以上を公表し、研究が継続して行われていること。
  - ② 過去5年間の授業の担当および実績状況が適切であり、今後の教育活動に支障がないこと。
  - ③ 任期中に担当する授業の時間数が、専任教員の実情と比べて著しく少なくないこと。
  - ④ 本学の教員としてふさわしい研究・教育・運営上の活動を行ってきたと認められること。

(2) 「特任教員B」

本学の教員としてふさわしい研究業績および教育能力をもつこと。

(任用)

第5条 任用は、以下の組織において行う。

- (1) 「特任教員A」の任用は、特任教員推薦委員会の推薦により、各学部教授会において行い、理事会の承認を得るものとする。
- (2) 「特任教員B」の任用は、各学部教授会において行い、理事会の承認を得るものとする。

(特任教員推薦委員会)

第6条 特任教員推薦委員会は、学長、各学部長、教務委員長、および各研究科長によって構成する。学長は委員長となる。

(職務)

第7条 職務は、専任教員に準じる。

(労働条件等)

第8条 労働条件に関する事項は、「特任教員就業規則」による。

甲第2号証

# VEハンドブック

Value Engineering Handbook

監修

上野 一郎

編集代表

土屋 裕・田中 雅康・中神 芳夫

Society Of Japanese Value Engineering



社団法人日本バリューエンジニアリング協会

# サステナビリティの政策と経営

—低炭素循環型社会をめぐる日本とスウェーデン—

長岡 延孝 編著

晃 洋 書 房

インターネットショッピングにみられる  
スウェーデンと日本の学生の  
ライフスタイルに関する比較研究

Comparison research on lifestyle of student  
in Sweden and Japan concerning the Internet shopping

吉井康雄

YOSHII, Yasuo

『大阪経大論集』 第58巻第5号 抜刷  
Osaka Keidai Ronshū Vol. 58, No. 5 November 2007  
2007年11月 大阪経大学会発行  
Edited by Osaka University of Economics Institute

# 特任教員任用資料

甲第 5 号証

2012 年 9 月 29 日現在

I. 氏 名 吉井 康雄 印 所 経営学部 経営学科

II. 現 職 名 教授 現職就 1997 年 4 月 1 日

III. 本学就任 1997 年 4 月 1 日

IV. 研究業績 (著書, 論文, 調査報告, その他の順)

\*過去5年間の業績をご記入ください。

なお、来る10月1日までに公表予定のものがある場合は、それもあわせてご記入ください。

## 1. 著書・論文等

公表年月	単著 共著	書名・論題	掲載誌名	発行所	備考
年 月		著書			
2007 年 12 月	共著	「VE提案」	『VEハンドブック』	(社)日本VE協会	pp147-152
2010 年 5 月	共著	第3章 「低炭素循環型社会をめざす 企業の環境経営」	『サステナビリティの 政策と経営』	晃洋書房	pp75-130
年 月		論文			
2007 年 11 月	単著	「インターネットショッピングにみられるスウェーデンと 日本の学生のライフスタイルに関する比較研究」	『大阪経大論集』 第58巻第5号	大阪経大学会	pp1-12
年 月		その他			
2009 年 5 月	単著	「株式会社リコー訪問記」	『バリュー・エンジニアリング』No.252	(社)日本VE協会	29~34頁
2011 年 6 月	単著	「マツダ株式会社社訪問記」	『バリュー・エンジニアリング』No.264	(社)日本VE協会	27~32頁
2012 年 4 月	単著	「株式会社デンソー訪問記」	『バリュー・エンジニアリング』No.269	(社)日本VE協会	29~34頁

## 2. 学会発表・研究活動等

公表年月	テ ー マ	公表機関または学会名	備考
2007 年 9 月	スウェーデンと日本の環境への取り組み比較	CMP研究会(科研費) 東京農工大学	
2008 年 4 月	スウェーデンと日本の環境への取り組み比較	CMP研究会(科研費) 大東文化大学	
2008 年 8 月	スウェーデンと日本の環境への取り組み比較	CMP研究会(科研費) 大阪経済大学	
2008 年 12 月	スウェーデンと日本の環境への取り組み比較	CMP研究会(科研費) 大東文化大学 法科大学院信濃町校舎	
2009 年 7 月	スウェーデンと日本の環境への取り組み比較	CMP研究会(科研費) 東海産業	

## 3. その他

平成23年10月、VE功労賞受賞 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

マイルズ賞審査委員として書類審査および実査

(2008年、シャープ株式会社情報通信事業本部、アイシン開発株式会社)

(2009年、株式会社ニコン精機カンパニー熊谷製作所)

(2010年、株式会社山武 ビルシステムカンパニー)

VE活動優秀賞として書類審査

(2012年、三菱重工業株式会社 広島製作所、株式会社北川鉄工所 工機事業部)

(公益社団法人)日本バリュー・エンジニアリング協会

平成2年3月～現在 参与、本部企画委員会 委員

平成2年3月～平成23年5月 マネジメントコンサルタント認定推薦委員会 委員長

平成3年5月～現在 マイルズ賞審査会 委員

平成4年5月～現在 技術情報誌『バリュー・エンジニアリング』編集委員会委員長

平成23年5月～現在 顕彰委員会 委員

平成2年～現在 東日本支部および関西支部委員

(公社)全日本能率連盟 Master of Certified Management Consultant として

日本CVS会 委員 CVS (Certified Value Specialist) として

(社)産業環境管理協会 個人会員として

本学における役職歴

経営学部 教授 吉井康雄

学部長	年	月	年	月	役職歴		
濱本	1997	4	1998	4	就職委員会	資格委員会	
	1998	5	1999	4	就職委員会		
渡辺	1999	5	2000	4	教務委員会、 カリキュラム委員会	公募推薦 入試問題作成委員	歩留委員会
	2000	5	2001	4	教務委員会、 カリキュラム委員会	公募推薦 入試問題作成委員	歩留委員会
二宮	2001	5	2002	4	情報処理 センター委員会	公募推薦 入試問題作成委員	
北村	2002	5	2003	4	海外留学中		
	2003	5	2004	4	情報処理 センター委員会	公募推薦 入試問題作成委員	
	2004	5	2005	4		公募推薦 入試問題作成委員	
二宮	2005	5	2006	4		公募推薦 入試問題作成委員	
	2006	5	2007	4			
渡辺	2007	5	2008	4	国庫助成委員会		
北村	2008	5	2009	4	国庫助成委員会		
	2009	5	2010	4	国庫助成委員会		
井形	2010	4	2011	3	国内留学中		
	2011	5	2012	4	17歳からのメッセージ運営委員会		
	2012	5	2013	4	17歳からのメッセージ運営委員会		

3 年講義計画

経営学部 教授 吉井康雄

2012 年度 (本年度の講義計画です)

学部・大学院	学期	I 部・II 部	科目名	単位
経営学部	春学期	I 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
			外国書講読 I (英語)	2
			演習 II (3 年)	2
	秋学期	II 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
		I 部	情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
			外国書講読 II (英語)	2
			演習 III (3 年)	2
II 部	演習 I	2		
	情報ネットワーク論 II	2		
通年				
大学院研究科	春学期 (北浜)			
	秋学期 (大隅)			
	通年			

合計 26 単位

2013 年度

学部・大学院	学期	I 部・II 部	科目名	単位
経営学部	春学期	I 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
			外国書講読 I (英語)	2
			演習 II (3 年)	2
	秋学期	II 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
			演習 I	2
		I 部	情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
			外国書講読 II (英語)	2
II 部	演習 III (3 年)	2		
	情報ネットワーク論 II	2		
	情報バリューエンジニアリング	2		
通年		卒業研究	4	
大学院研究科	春学期 (北浜)			
	秋学期 (大隅)			
	通年			

合計 30 単位

2014 年度

学部・大学院	学期	I 部・II 部	科目名	単位
経営学部	春学期	I 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
			外国書講読 I (英語)	2
			演習 II (3 年)	2
		II 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
	秋学期	I 部	情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
			外国書講読 II (英語)	2
			演習 III (3 年)	2
		II 部	情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
通年		卒業研究	4	
大学院研究科	春学期 (北浜)			
	秋学期 (大隅)			
	通年			

合計 28 単位

2015 年度

学部・大学院	学期	I 部・II 部	科目名	単位
経営学部	春学期	I 部	情報ネットワーク論 I	2
			経営情報論	2
			外国書講読 I (英語)	2
			情報ネットワーク論 I	2
		II 部	経営情報論	2
			情報ネットワーク論 II	2
	秋学期	I 部	情報バリューエンジニアリング	2
			外国書講読 II (英語)	2
			情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
		II 部	情報ネットワーク論 II	2
			情報バリューエンジニアリング	2
通年		卒業研究	4	
大学院研究科	春学期 (北浜)			
	秋学期 (大隅)			
	通年			

合計 24 単位

注1)お示しの下記の記入様式は、上記のように修正するとともに、合計単位数を明記しています。

注2)3 年講義計画の対象期間は、2013 年度から 2015 年度と判断し、

その計画を上記に示すとともに、現在の 2012 年度の講義計画も参考に示しています。

注3)経営学特殊講義の2つの課目、バリュー・マネジメント論と環境経営論は不開講としています。